

終章

1 全体的な理念・目標等の達成状況 2007年4月1日現在、本会計大学院の在籍学生のうち半数以上は社会人層であり、本会計大学院の教育理念である、有資格者・社会人に対する高度で実践的な専門職教育・リカレント教育について、その目的どおりに教育が行われている。特にビジネス・シミュレーション科目や事例研究科目では、実学教育が実践され、高い効果をあげている。

2 今後取り組むべき課題について 本会計大学院の特色である高度で実践的な専門職教育・リカレント教育を広く実務界に告知するための方策として、本会計大学院のカリキュラムを応用させ、企業を対象とした研修などを導入し、実務界での認知度と信頼度を上げていく。それを入学者確保の1つの重要なルートとする。

3 今後目指すべき方向性について 本会計大学院は、学生が大学院の資源であるとの認識の下、学生のために、学生とともに成長する大学院を目指す。本会計大学院は、本会計大学院が誇る教授陣による研究と教育サービスの提供により、本会計大学院の目的達成に邁進する。